島根県看護協会情報誌

あかね雲

2019.10.30
NO.167

CONTENTS

◆令和2年度
役員・推薦委員改選のお知らせ・・・・・P1
◆理事会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
◆島根県看護協会の動き・・・・・・・・・・・P1
◆3職能合同研修会・・・・・・・・・・・・・・・・P2
◆学術集会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
◆災害看護委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
◆支部活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
◆特定行為研修体制整備事業の推進・・P6
◆Nursing Now キャンペーン
「看護の力で健康な社会を！・・・・・・・P6
◆ナースセンターだより・・・・・・・・・・P7.8
◆准看護師の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・P9

大田市 / 浄善寺の大イチョウ

湧水

「中規模病院の人材育成」

医療法人　社団　創健会　松江記念病院　看護部長　大越　美香

当法人・看護職員は松江記念病院（116床）・介護医療院（56床）・介護老人保健施設（80床）・訪問看護で勤務をしています。

教育研修体制は法人外・法人内・看護部と3つの枠組みで行い、法人外研修は島根県看護協会に歩いて20分と近いため、研修に積極的に参加をしています。毎年、新人看護職員は5名以内と少なく「多施設合同研修」に参加し、「学生の時の友達に会えて嬉しかった」と報告があります。法人内研修は多職種がかかわる研修が多く、特に認知症ケア・看取りケア等は全職員が参加できるよう複数回の開催をしています。看護部研修は専門・認定看護師主催で高齢者ケアを中心に行っています。

今後は松江圏域の研修会にも参加し、松江地域の課題を共有、学びを深めたいと考えています。

公益社団法人 島根県看護協会

2020年度改正役員及び推薦委員への立候補並びに推薦について

選挙管理委員会からのお知らせ

令和2年6月6日島根県男女共同参画センターあすてらすにて開催される令和2年度通常総会において、改正役員および推薦委員の選挙を実施いたしますので、立候補ならびに受付期間等についてお知らせします。

令和2年度　改選となる役員の職名および氏名

副会長：永江尚美　専務理事：徳若光代
職能理事：八澤京子、飯塚淳子、大林由美
支部理事：白石淳子、田中成子、古谷玲奈
准看護師理事：岩田明子　監事：今岡きみ子

役職名と改選人数

1.役員　10人
(1)副会長1人　(2)専務理事1人
(3)職能理事3人(助産師職能・看護師職能Ⅰ・看護師職能Ⅱ)
(4)支部理事3人(雲南・大田・浜田)
(5)准看護師理事1人　(6)監事1人
2.推薦委員　7人
3.日本看護協会代議員　6人
(保健師1名、助産師1名、看護師3名、准看護師1名とし、5名を超えるものは職種を問わない)
日本看護協会予備代議員　6人
(保健師1名、助産師1名、看護師3名、准看護師1名とし、5名を超えるものは職種を問わない)

立候補方法

立候補される方は、正会員5人以上の推薦を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに郵送ください。
届出用紙は本会ホームページに掲載しておりますのでダウンロードしてご使用ください。

立候補締切日

令和2年2月28日(金)

推薦委員会からのお知らせ

令和2年度改選役員および推薦委員の候補者について、会員の皆様におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦ください。

役職名と改選人数

選挙管理委員会からのお知らせと同じです。

推薦基準

(1)本会の目的達成のための活動に積極的に取り組み、任務を遂行できる人
(2)本会が定めた会議に出席できる人

推薦方法

推薦書を推薦委員長あてに郵送ください。
推薦書は本会ホームページに掲載しておりますのでダウンロードしてご使用ください。

推薦締切日

令和元年12月9日(月)※当日消印有効(要郵送)

送付先

〒690-0049松江市袖師町7-11
TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp

あて先

島根県看護協会　選挙管理委員長あて(親展)
または
島根県看護協会　推薦委員長あて(親展)

理事会報告

◆第4回理事会

【協議事項】

1　看護問題に係る島根県要望
2　島根県立大学 大学院看護学部研究科における保健師養成課程設置の要望
3　令和元年度職能委員会・常任委員会・特別委員会報告
4　令和元年度ナースセンター・委託事業等報告
5　令和元年度支部報告協議
6　島根県看護協会「訪問看護ステーション」の運営について
7　令和2年度看護の日記念事業とNursig nowの取組について
8　消費税変更に伴う対応について
9　協会資金(預金)の運用(案)

【報告事項】

1　日本看護協会第4回理事会報告
2　全国職能委員長会
3　都道府県教育担当者会議
4　都道府県災害看護担当役員会議
5　都道府県看護協会政策責任者会議
6　都道府県ナースセンターとの地区連絡会
7　令和元年度島根県看護協会会員数(9月末現在)
8　第46回医療功労賞候補者推薦について
9　訪問看護ステーションやすらぎの倉庫延焼について

島根県看護協会の動き(2019年9・10月)

項目	月　日(曜)	実　施　事　項	出　席　者	場　所
日本看護協会	9月12日(木)	災害看護担当役員会議	徳若理事、松本災害看護委員	日看協JNAホール
	9月25日(水)	都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会	春日参与、栗谷	愛媛県看護協会
	9月26日(木)	都道府県看護協会政策責任者会議	秦会長、徳若理事	日看協JNAホール
	9月27日(金)	日本看護協会理事会	秦会長	日看協JNAホール
島根県看護協会	9月19日(木)	介護保険事業立入検査	徳若理事、植田局長	STやすらぎ
	9月20日(金)	高校生のための進学ガイダンス	春日参与	浜田高校
	9月24日(火)	常務理事会	秦会長他	看護研修センター
	9月26日(木)	介護保険事業立入検査	植田局長	STおおだ
	10月4日(金)	島根県看護協会理事会	秦会長他	看護研修センター
	10月9日(水)	助産師出向支援導入事業第1回協議会	秦会長、徳若理事	サンラポーむらくも
島根県	9月　5日(木)	島根県自死総合対策連絡協議会	徳若理事	サンラポーむらくも
	9月30日(月)	松江市立病院倫理委員会	小森監事	松江市立病院

令和元年度 3職能合同研修会を開催しました！

「3看護職能で地域包括ケアシステム実践交流をしました」

看護師職能Ⅱ委員長　大林　由美

8月3日（土）午前、大田あすてらすにて、70名の参加で行いました。

最初に島根県高齢者福祉課　地域包括ケア推進室室長桐田和幸氏より、県の人口は減少するが、75歳以上の人口は令和12年度まで増加する事、地域医療構想では2025年度の病床必要数は2,236床の減床で、在宅医療の整備（小さな拠点づくり）が早急に求められている事についてお聞きしました。地域包括ケアシステムの看護職への期待として「土台としての地域力の基盤強化」「暮らしの場における質の高い看護力」「保健・医療・介護・福祉をつなぐ切れ目のないサービスの連携強化」が求められました。

急性期看護の立場からは、島根県立中央病院　入退院支援地域医療連携センター看護師長　岩佐佳栄氏より「早期退院支援が患者さんの人生を変える。」「退院支援は病院と地域がひとつのチームとなって行うこと」とさまざまなデータからの提案がありました。

訪問看護からは、大田市立病院訪問看護ステーション所長　松原愛美氏より、小児の在宅看護を通じて地域のネットワークシステムづくりについての報告がありました。

助産師からは、益田市山本助産院の山本喜久子氏から、産後デイケアの取り組みについてお聞きし、産後も母子をあたたかく継続的に関わられている活動を聞きました。

保健師からは、江津市健康医療対策課包括支援係　係長　小田みゆき氏より、市の保健師を中心に、月2回他職種での「個別会議」を継続的に開催し、地域サポート力の強化が図られている実践報告がありました。

参加者からは、「3職能のそれぞれの立場や頑張りを共有でき、地域と病院の連携の必要性を考える良い機会となった。」「地域で患者を支えるためには　他の職場を看護職がもっと知る事が大切。」「子どもから高齢者まで、本当の地域包括ケアの研修だった。」などの感想がありました。今後も「生きるを　ともに　つくる」看護の実践に力をあわせてゆきたいと思います。

「保健師に今求められていることに応えるために！」

保健師職能委員長　天野　和子

「地域共生社会の実現」にあたっては保健師の専門性を発揮することが求められており、そのためには、複雑多重化する地域を的確にアセスメントできる力が必要です。

昨年度までの2カ年、日本看護協会の「実践力アップ!事例検討」の手法を用いて個別事例の課題を多角的にアセスメントし、ひいては地域の課題解決に意識を向けることを目標に事例検討研修に取り組みました。その後、各職場で事例検討が開催されるようになり、一定の効果を得ることができたと考えています。

今年度は、地域活動の実践を意識したポピュレーションアプローチを学ぶ2回の研修が進行中です。保健師は、PDCAサイクルを常に意識して活動していますが、時に事業が目的となり、取り組みの評価が十分できず不消化で終わっていることから、今一度基本に立ち返り、自信を持って保健活動が実践できるようにと企画しました。

第1回の基礎編は「効果的なポピュレーションアプローチとは」をテーマに、東京医療保健大学大学院の非常勤講師の村中峯子氏と邑南町保健師の土﨑しのぶさんを講師とし、講義と実践報告を受けた後、グループワークで、明日から一人ひとりができることを確認し合いました。第2回の実践編は（12月14日開催予定）第1回に続いて村中氏を講師に迎え、健康課題を施策化につなげる実践演習を計画中です。

常に「誰が」「どんな状態になる事をめざす」のか、目的を明確にした保健活動を実践する事を再確認できた研修となりました。

さらに、今年度は様々な部門で働く保健師の活動を知り、顔なじみになり連携をはかる事を目的に浜田市の「いわみーる」を会場に10月19日（土）午後に保健師職能集会を開催しました。

令和元年度

第12回島根看護学術集会を終えて

島根県立大学看護栄養学部　松本　亥智江

令和元年7月13日(土)にビッグハート出雲を会場に、第12回島根看護学術集会を開催し、181名の看護職および看護学生の皆様にご参加いただきました。

今回の学術集会のメインテーマは「島根の看護のみらい　－育ち･育てる力をはぐくむ－」としました。目まぐるしく変化する臨床の現場では、看護職に求められる役割も多様化し、その役割を果たす人材育成が課題となっています。しかし、人材育成においては学ぶ側も育てる側も大きな負担感を感じながら日々取り組んでいる現状があります。そこで、育つ側と育てる側の双方で、島根の看護の未来を担う次世代の育成についてともに考える機会としたいと考えこのテーマを掲げました。

このテーマに合わせて、特別講演では日本赤十字豊田看護大学の松浦正子氏を招聘し「臨床現場における教育担当者の育成　－ともに育つ組織をつくる－」というテーマでご講演をいただきました。幅広い視点からのご講演で、育てること、育つことについて深く考える機会となりました。参加者の皆様からは「仕事に対するモチベーションが下がりつつあったが、もう少し頑張ってみようかなと思えた」「育てる側が育てることだけでなく、自らが育つことが大切」などの感想をいただきました。参加された皆様それぞれの立場で多くの示唆を得ることができたご講演であったと感じています。

一般演題では口演8題、示説10題、計18題の研究発表が行われました。臨床で取り組まれた貴重な研究成果をご発表頂きました発表者の方に、この場を借りて御礼申し上げます。学会委員会でも、県内施設における看護研究への取り組みの実態調査を行い、その結果、特に中小規模施設における看護研究実施における課題が捉えられました。今後は、この学術集会が皆様の課題解決に向けて何らかのお役に立つような企画ができればと思っています。どうぞご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

災害看護委員会

災害看護委員会の活動

災害看護委員長　松本　由夏

災害看護委員会では年2回、災害看護研修（基礎編、実務編）を開催しています。基礎編では災害支援ナースの第一歩とし、災害看護の基礎知識を学ぶためにオンデマンド研修を実施しています。実務編では、災害看護分野で活躍されている講師をお招きし、災害支援ナースとして活動できる実践能力を習得するための講義・演習を実施しています。

災害看護委員会では、年2回研修開催の他に日本看護協会で開催される『都道府県災害看護担当者会議』や『災害支援ナース育成研修』、『災害支援ナース派遣調整合同訓練』などにも参加をし、各都道府県の災害担当者と意見交換を行ったり、近隣県とは被災状況を確認するなど、ネットワークを広げる関係性作りも実施しています。

現在島根県には、基礎編・実務編のコースを受講し103名の災害支援ナース登録があります。災害支援ナースとは『被災した看護職の心身の負担軽減、被災者が健康レベルを維持できるように、適切な医療・看護を提供する看護職』のことを表します。近年各地で地震や豪雨による災害が起きています。地震や豪雨などで被災した都道府県では、今後の災害対策がしっかりされており、災害の少ない島根県では今後を見据えて災害対策を行う必要があると感じています。いつ被災者・受援者になるか分かりません。看護職として迅速な対応が出来るよう、多くの方に災害看護について学んで頂きたいと思っています。

2019年度の災害支援ナース派遣調整合同訓練を実施します!!

11月5日、6日、7日の3日間で実施する合同訓練は、被災想定県の兵庫県山崎断層帯で地震が発生し、人口が密集する地域で死者・負傷者の他、医療を必要とする被災者が多数発生し、主要な病院のみでは対応困難となって応援要請が出されたとの設定です。

主な内容

1　日本看護協会は被災県看護協会、都道府県看護協会と直接連絡、連携をとり、災害支援ナースの派遣調整を行う。

2　都道府県看護協会は災害支援ナースの所属施設看護管理者に派遣要請をして、候補者を日本看護協会に連絡をする。

島根県看護協会の災害支援ナースの登録状況は、令和元年7月現在で103名です。支部別、職種別の登録状況は表のとおりです。登録をされても、職場の移動等の理由で登録辞退をされる人があるのがとても残念に思います。実際の災害派遣を検討する場合は看護管理者と十分に連絡相談をして対応をしますので、無理な派遣依頼にならないように十分配慮をして取り組みます。

支部別・職能別の災害支援ナース登録状況

	保健師	助産師	看護師	合計
松江支部	5	0	33	38
雲南支部	0	0	14	14
出雲支部	1	0	21	22
大田支部	0	0	10	10
浜田支部	2	0	6	8
益田支部	1	0	9	10
隠岐支部	0	0	1	1
合計	9	0	94	103

支部活動

高校生への看護職PR活動を実施しました!!

大田支部長　田中　成子

まだまだ暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしですか。

令和元年度の新体制で初めての活動「高校生への看護職PR活動」を実施しました。今年度は邑智郡川本町にある県立中央高校の文化祭に参加させて頂きました。高校生は活気に満ち溢れていてキラキラしていました。

会議室をお借りして看護職3職能のPRとして、日頃のそれぞれの職能の活動を写真やコメントを用いて作成し、スライドを繰り返し映し、いつでも見られるようにしてみました。文化祭には保護者の方、兄弟などの参加もあり、将来の職業選択のためにも見て頂き良かったと思いました。

また看護体験では白衣体験・血圧測定や聴診器体験・血糖測定や駆血帯を使用してみる、などの色々な体験を取り入れました。

今年度は男性看護師にも協力して貰い、男子高校生に対してのアピールの機会にもしました。

また、町の保健室の活動も一緒にできて、町民の皆様の日頃の健康相談や、健康管理についてもお話を聞くことができました。

毎年文化祭に参加すると、食べ物屋さんに負けてしまい、参加者が少ないのですが、今年は野球部の学生さんに助けられ参加者が増えました。感謝・感謝です。

浜田支部活動について

浜田支部長　古谷　玲奈

今年度浜田支部では、災害をテーマに支部研修会を計画しています。6月15日(土)に「災害支援ナースってなあに?～災害について考えよう～」をテーマに第1回支部研修会を開催しました。災害支援ナース、救急看護認定看護師の當田晶子氏を講師にお迎えし、講義とGWを行いました。講義では、災害支援ナース・実際の災害現場での活動について、GWでは実際に自分が災害現場に派遣されることになった時どのような準備が必要かについて話合いました。昨年はリフレッシュ研修を組み込んでいた枠であったため、災害というテーマ、グループワークを行うということで参加者の方々がどのような感想を持たれるかドキドキしながら研修会の日を迎えました。GWでは、どのグループも活発に意見が交わされ、楽しそうに研修を受けておられました。アンケートでは、『実際の体験を交えてわかりやすく伝えて下さった』『GWで災害に向けての準備について実際に考えることができた』『GWは様々な意見が聞けて交流もあって良かった』等好評な意見を頂きました。現在、第2回研修会の内容について検討中です。1人でも多くの方に興味を持って頂けるような研修会を計画していきたいと思います。

特定行為研修体制整備事業の推進

島根県看護協会　常任理事　原　徳子

日本看護協会は2025年へ向けて疾病構造や医療提供体制の変化を踏まえ、地域包括ケアシステムの推進をはかるためには、個別に熟練した看護師のみでは足りないことから、医師等の指示を待たず手順書により一定の診療補助を行う看護師を計画的に養成する必要があるとしています。

島根県看護協会では島根県と協力し、特定行為研修制度の意義について理解を深めるとともに、特定行為研修修了者の活動とその成果を知っていただき、広く特定行為に係る看護師の研修制度の普及促進に努めたいと考えています。

そこで、昨年に続き今年度も以下のような研修会を企画しました。管理者をはじめとし、多くの方に参加をよろしくお願い致します。

① 「看護師の特定行為研修」普及啓発セミナーの開催

日時：令和元年11月23日（土）　島根県看護研修センター　13:30～16:00
　　11月24日（日）　浜田いわみーる　13:30～16:00

講師：山口県厚生農業協同組合連合会　長門総合病院
　看護部長　花島　まり氏
　訪問看護ステーション師長　救急看護認定看護師　特定行為研修修了　磯本一夫氏

② 特定行為研修シンポジウム

－特定行為研修修了者の活動について－

日時：令和2年1月18日（土）

講師：県内特定行為研修修了者および管理者　（報告施設　未定）

Nursing Now キャンペーン「看護の力で健康な社会を!」

ナイチンゲール生誕200年となる2020年に向け、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、世界保健機関（WHO）及び国際看護師協会（ICN）の賛同の下、英国のチャリティ団体であるバーデット看護信託が事務局となり、世界的に広まっています。

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

世界では、保健医療制度や人々のニーズが大きく変化しており、看護職はこの変化への対応が求められています。看護職が変化に対応し、一層活躍するには、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことが重要であり、そのための様々な条件や環境を整える必要があります。

生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

公益社団法人 島根県看護協会
Shimane Nursing Association

ナースセンターだより

「看護のこころ」普及事業　～高校生進学ガイダンスについて～

認定看護師に学ぶ

先輩看護師からの看護の魅力

Q 進学ガイダンスは、いつから行われていますか？

A 平成4年「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の制定に伴い一部の支部活動として看護の魅力を伝えるため学校訪問（進路説明会、出前授業などの名称）を行ってきました。その後「高校進路オリエンテーション」事業と名称変更。平成17年看護職員需給見通しを踏まえ「高校生進学ガイダンス」としてナースセンター事業に位置付けられ4高校からスタート。今は年間約10校の高校生に対し、看護職への理解を深め看護職になるための情報提供の場となり、県内高校から毎年400名前後が看護師等学校養成所に進学しています。

Q ガイダンスではどんなことをしますか？

A ベテラン看護師と依頼校出身の若い看護師により「看護の仕事、看護職の道、学校生活、患者さんとのエピソードや看護の魅力、看護技術」など学校の要望に沿ってお話しします。昨年は1～3年生320名が参加しました。「看護だけでなく助産師にも興味を持った」「看護師になってよかった話を聞いて、辛いことばかりでなく元気になられて嬉しい話を聞いて、人のために働きたい」などの感想がありました。

技術研修【静脈注射】を開催しました

□令和元年9月9日・10日の2日間、島根県立大学出雲キャンパスにおいて、「臨床現場で安全・正確に静脈注射を実践できる看護職を育成する」ことを目的に研修を開催しました。

□8人の受講生が、薬剤の知識や看護師の責務を学び、静脈注射の準備や装着モデルを使って技術演習を実施しました。

装着モデルを使用して点滴静脈注射の練習

受講生の感想

★薬剤に関する最新の知識が学べ、記憶の振り返りができました。

★指差し呼称で、処方箋や薬剤の加薬演習は、忘れがちなところの確認ができました。

★点滴やワンショットの細かな手技や、根拠を学びました。

私の復職ストーリー

ナースセンターを上手に活用してください。
看護職 と 求人施設 を無料でサポートします!

県外からUターン、認定看護師資格を活かして公立邑智病院へ復職

認知症看護認定看護師　藤本　優志

ナースセンターを利用したきっかけ

広島県から、もっと認知症看護を学びたいという思いで一念発起し、退職して島根県立大学認定看護師教育課程（認知症看護分野）に入学しました。苦しくも楽しい教育課程を修了し、就職のことを何も考えていなかったのですが、大学の先生にナースセンターに相談してみればというのがきっかけでした。

どのようにして就職を決めたのか

ナースセンターを初めて訪れ、就業相談員さんに前職での思いを聴いていただくことや、病院を数か所見学できるよう段取りしてもらいました。細かいことはメールや電話で相談しました。病院見学の際は「自分の思いをぶつけてみては」と助言をいただいたので、公立邑智病院では疑問に思っていること、今後私のしたいことなどを、率直に看護部長さんや事務長さんに質問し、丁寧に答えて頂きました。現場の看護師の話を聴いて頂ける職場だと感じ就職への気持ちが高まりました。また認定教育課程で一緒に学んだ同期と認知症看護ができることも魅力的でした。

復職して半年、現在の思い

復職して半年で、まだまだ慣れないことが多いですが、現場のみなさんに支えて頂きながら、看護師をさせて頂いています。しんどいなと思うこともありますが、認知症の方と接すると、やっぱり看護は楽しいです。看護師が対応に困った時にタイムリーに相談できる体制を作り、認知症の方の個別性や意思に合わせたケアと安心できる環境が提供出来るように頑張っていきたいと思います。

採用施設の立場から

看護部長　田形　成美

公立邑智病院は邑智郡唯一の急性期救急告示病院で、看護職の確保に苦慮しています。毎年、島根県ナースセンターと看護職確保の情報交換をさせていただいていますが、このたびナースセンターから、県外からの復職希望があるという吉報をいただきました！　高齢化率が44.9%の当地域にとって、さらに認知症看護認定資格がある看護師が就職してくれることは、この地域の看護の質の向上につながるとの期待も大きく、あらためてナースセンターの存在のありがたさとつながりの大切さを実感しているところです。今後も島根県ナースセンターを活用させていただき、この地域の医療を守っていけるように看護職確保に努めていきたいと思います。

今後のナースセンター研修のご案内

福祉職場チャレンジ講習会

対象：求職中の方、
福祉職場に関心のある方

プラチナナース大歓迎

浜田会場：いわみーる	松江会場：看護研修センター
11月26日（火）	12月2日（月）
13:30～15:00	13:30～15:00

参加費無料。無料託児もあります。

技術研修会

対象：求職中の方、中小規模病院や
介護施設等でスキルアップをしたい看護職

会場：島根県立大学出雲キャンパス
令和2年3月23日（月）24日（火）
10:00～16:00

内容：「フィジカルアセスメント」

＊詳しくは島根県ナースセンターにお問い合わせください　☎0852-27-8510

准看護師の皆様へ

2年課程（通信制）進学者に対する奨学金のご案内

1. 応募資格

日本看護協会の会員であること（新規入会年度に応募可）
看護師学養成所2年課程（通信制）に在籍していること（入学許可も含む）

2. 奨学金の貸与期間及び金額

【期間】 貸与期間は在学中の1年間又は2年間
【金額】 年額36万円又は48万円（任意選択）を無利息で1年ごとに貸与

3. 奨学生採用数

第一期：約100名、第二期：約100名

4. 応募期間

第一期：2020年1月15日（水）～2月28日（金）※必着
第二期：2020年3月 2日（月）～4月27日（月）※必着

5. 応募方法等

応募方法等詳細につきましては、
以下日本看護協会ホームページよりご確認ください。
https://www.nurse.or.jp/nursing/education/scholarship/ninenkatei/oubo.html

お知らせ INFORMATION

協会・連盟合同セミナー

日　時：令和元年11月2日（土）　講　師：大島敏子氏
場　所：パルメイト 出雲　（日本看護連盟 会長）

地域包括ケア構築に向けた多職種相互の役割・連携の強化（3協会合同研修）

日　時：令和元年11月9日（土）
場　所：パルメイト 出雲
講　師：浦上克哉氏
（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野教授）

「看護師の特定行為研修」普及啓発セミナー

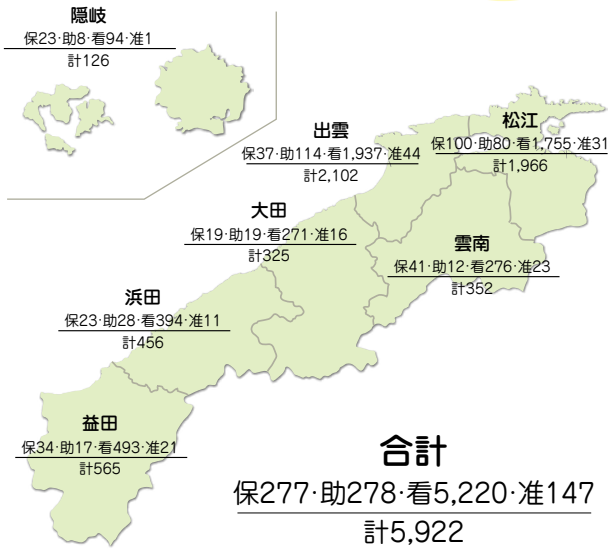
●松江会場
日　時：令和元年11月23日（土）　場　所：看護研修センター
●浜田会場
日　時：令和元年11月24日（日）　場　所：いわみーる

看護職の禁煙支援者研修会

日　時：令和元年12月22日（日）10:00～16:30
場　所：看護研修センター
講　師：吉見逸郎先生
（国立がんセンター がん対策情報センター たばこ政策支援部）
谷口千枝先生（愛知医科大学看護学部 成人看護学部）
瀬在　泉先生（防衛医科大学校 医学部教育部 看護学科）

支部別・職能別会員数（合計）

（令和元年9月29日現在）



合計
保277·助278·看5,220·准147
計5,922

編集後記

大型台風19号により東北、関東・甲信越を中心に甚大な被害が発生しています。
被災をされた皆様に心からお見舞い申し上げます。会員の皆様、平常時から災害時対応について話合う機会を持ちましょう。

【発行日】令和元年10月30日　【発行責任者】秦　美恵子　【編　集】公益社団法人島根県看護協会
〒690-0049　松江市袖師町7-11　TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
https://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp